天草高校同窓会で一番古い歴史を誇る「天草高校同窓会中京支部(中京図南会）」会報誌

飛翔

中京支部ホームページのアドレスです。スマホのカメラで読み込んでください。

発行：天草高校同窓会中京支部(中京図南会）事務局　発行人：福田和幸
ホームページ：amachu.iinaa.net　メール：amatakachubu@gmail.com

4年ぶり40周年記念総会開催

4年ぶり総会・懇親会開催

3年近くに及んだ新型コロナも5月に5類に変わりましたので、6月18日（日）11:00～ルブラ王山で天草高校同窓会中京支部の令和5年度総会・懇親会が、コロナ期間中に迎えた中京支部40周年を皆さんで一緒にお祝いしようと総会実施プロジェクトを組織して企画され、「創立40周年記念大会」と銘打って、ボニージャックスリーダーで、同窓生の「玉田元康さん」（高5）をお迎えして、開催されました。参加者は、全国からの来賓の皆様が10名、会員の皆様が30名の合計40名で開催されました。総会1か月前の段階で、10名弱の参加申込でしたが、役員の皆様に、会員の皆様にご連絡をとっていただき、最終的に30名の皆様にご参加いただきました。参加いただいた皆様から、「とても楽しかった。来年も参加したい」「参加して良かった」などの感想を多くいただきました。来賓の皆様を初め、中京支部を応援しようと全国から参加いただいた皆様、参加者を増やすのに、ご尽力いただいた役員の皆様に御礼申し上げます。

＜中京支部総会・懇親会開催予定のお知らせ＞

2024年（令和6年度）天草高校同窓会中京支部　総会・懇親会は、以下の日程で開催予定です。是非ご参加下さい。

開催日時：2024年（令和6年）6月9日（日）11:00～
開催場所：ルブラ王山

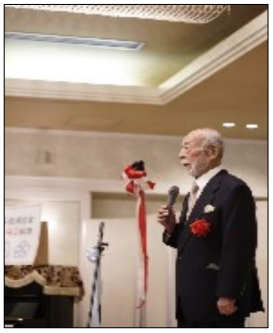
開催日が従来の第3日曜日から第2日曜日に変更されています。ご注意下さい。

会長挨拶

四十周年ありがとう

中京支部会長　福田和幸（高28）

創立四十周年の記念大会が無事に終わりました。ボニージャックスリーダーの玉田元康様（高五）におかれましては、東京から熊本コンサートへの移動途中の名古屋で途中下車され、記念大会にゲスト出演して頂きました。みんなで童謡や校歌を歌ったイベントは素晴らしいものとなりました。長時間の楽曲、深く感謝いたします。


玉田元康さんの熱唱

関東からは、星野悦子さん（高十八）、江頭眞喜子さん（高二十八）、関西からは池野光治さん（高十七）が参加され、花を添えていただきました。重ねて感謝いたします。

同窓会本部からは、安田公寛会長（高二十）が拠無い事情の為、本渡商工会議所会頭の池田正三郎副会長（高二十一）の御挨拶を頂きました。天草高校からは、中川正利校長（済々黌高校出身）が倉岳校の「マリンフェスタ」に出席の為、古閑博昭教頭からの御挨拶を頂きました。お二人とも高校の行事やSSH、交通インフラの発展について、深く掘り下げて説明を頂きました。

また、関東から山中麗子会長（高二十一）、関西から本島昭夫副会長（高十五）からの御挨拶を頂き地区毎の同窓会の様子をうかがうことができました。

今回の記念大会では、初めての参加の方、すごく久し振りの方がみえました、釜口康昭さん（高九）、三原富枝さん（高十）、岡村孝子さん（高十四）、下世稔子さん（高十四）、江崎孝行さん（高二十一）、石田益枝さん（高二十八）、中村和博さん（高二十八）、玉田光一さん（高三十三）の八名です。同伴者や運転手の都合をつけたり、仕事をうまくやりくりしたりしてなんとか参加して頂きました。

今年の「最古参」の同窓生は、坂本忠男さん（併設一）です。昭和二十二年、学制改革の特別措置として、本渡高等女学校とともに併設中学校を設置し、旧制中学校の二年生を収容しましたので（中三十六）相当でしょうか。総会の後、玉田さんの送別ティータイムまで参加して頂きありがとうございました。

最古参坂本忠男さん

「最若手」は、松崎一輝さん（高四十一）です。ハンドボールでしられた都呂々中出身で、現在も多方面で活躍中です。平成元年の卒業になりますので、四十年離れた先輩後輩になります。只、卒業生が中京地区に来て支部会員になれば三十五年離れた先輩後輩の関係ができますので、松崎さんは「中堅」になります。これは楽しみです。

さて来年ですが、総会懇親会の日程を一週間前倒しにしました。これは、毎年倉岳校のマリンフェスタと重なるため「是非、本物の校長先生の声を聴きたい」という要望からです。また、みなさんと会えることを楽しみにしております。

会務報告

2023年4月～2023年11月までの中京支部の活動状況について報告申し上げます。

①会報27号発行・送付（5月15日）
会報の発送については、名古屋市政資料館にて、役員の皆様に封入・発送作業をしていただきました。

②創立40周年記念総会開催（6月16日　於・ルブラ王山）

③あまたか関西総会・懇親会参加（7月2日） 会長参加

④関東あまたか会総会・懇親会参加（10月22日） 会長参加

⑤天草高校同窓会「図南会」大同窓会（11月12日） 会長参加

⑥ホームページ運用
最新の活動状況やニュースなどを随時掲載しております。表紙のQRコードからご覧ください。

なお、、**3地区交流会**には、過去3回開催しましたが、本来の交流目的は達成したとして、諸般の事情から、対面での開催は中止して、今後は、オンライン（ライン）で引き続き開催し、情報交換することになりました。

今後のスケジュールについて

- **12月**　会報誌第28号発行
- **2月29日（木）**
  天草高校同窓会　入会式

天草高校同窓会中京支部総会40周年記念大会

2023年6月18日(日) 11:00～ルブラ王山にて、創立４０周年記念総会・懇親会を開催しました。会員３０名、来賓・会友の皆様１０名の総数４０名で開催され、ボニージャックスのリーダーで同窓生の玉田元康さん（高５回生）をゲストに迎え、４０周年を祝う歌を披露していただきました。来賓の皆様も、同窓会本部から池田正三郎副会長（高２１）、天草高校教頭の古閑博昭先生、関東あまたか会の山中麗子会長（高２１）、あまたか関西の本島　昭男副会長（高１５）の多くの皆様にご多忙の中参加いただき、４０周年のお祝いのお言葉をいただきました。祝賀イベントも、玉田さんの歌のほかに、吉田和美さん（高１７）のギターとピアノの演奏やみんなで「天草小唄」などの合唱もあり、心に残る楽しい４０周年記念大会となりました。総会運営も役員の皆さんが本気で、皆さんで役割分担して、一生懸命取り組んでいただきました。参加者からも、「楽しかった。来年も参加したい」という声が多く届いています。運営にご尽力いただきました皆様ありがとうございました。 当日の式次第は下記を参照下さい。当日の模様の動画を右のＱＲコードからご覧ください。当日の準備から、総会・懇親会の内容を表わしたドキュメントになっておりますので、ご覧ください。

天草高等学校同窓会中京支部　創立 40 周年記念大会
令和 5(2023)年 6 月 18 日(日)　ルブラ王山

［式次第］

11:00　開会・黙祷・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・事務局長:小山　康志(高 26)

第Ⅰ部

１.支部総会

(1)会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・福田　和幸(高 28)

(2)来賓紹介・・・・・・・・・・幹事:杉浦　隆子(高 25)、松崎　一輝(高 41)

(3)同窓会会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・図南会:安田　公寛　様(高 20)

(代理　副会長　池田正三郎　様(高 21))

２.議事

(1)報告事項

①令和４年度事業報告・・・・・・・・・・・・・事務局長:小山　康志(高 26)

②令和５年度事業予定

③令和４年度決算報告　・・・・・・・・・・・・・会計:金子　洋子(高 33)

④令和４年度会計監査報告　・・・・・・会計監査: 加藤　邦子(高 15)

(2)審議事項

①第一号議案　令和５年度予算・・・・・事務局長:小山　康志(高 26)

11:30　**第Ⅱ部　創立 40 周年記念イベント**

「ボニージャックスリーダー　玉田　元康氏(高 5)を　お迎えして」

１　ギター演奏・・・・・・・吉田　和美氏(高 17、日本演奏連盟会員)

２　歌・・・・・・・・・・・・玉田　元康氏(高 5)、サポ　横山　憲子(高 13)

３　みんなで歌いましょう

12:10　４　謝辞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・平方　良介(高 12)

12:15　全体写真撮影

12:20　**第Ⅲ部　創立 40 周年祝賀懇親会**

１.来賓挨拶

(1)天草高等学校　学校長・・・・・・・・・・・・・・・・中川　正利様

(代理　教頭　古閑博昭　様

(2)関東あまたか会会長・・・・・・・・・・・・・・・・・山中　麗子様(高 21)

(3)あまたか関西副会長・・・・・・・・・・・・・・・・・本島　昭男様(高 15)

12:35　**２.祝賀懇親会**

(1)乾杯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・坂本　忠男(併１)

(2)余興

・歌　星野悦子様（高 18）

・その他

13:15　(3)ハイヤ踊り

13:30　(4)校歌斉唱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・指揮: 伊藤　兼行(高 18)

(5)万歳三唱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・橋本　浩二(高 12)

13:55　閉会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・佐古　恵子(高 26)

祝天草高校同窓会中京支部

天草高校同窓会中京支部

祝天草高校同窓会中京支部40周年

Petit Amande
洋菓子　プチアマンド
〒482-0025
愛知県岩倉市大地新町2-45
TEL 0587-66-7021
www.petit-amande.com

【南区道徳駅より徒歩5分】
はり・小児はり マッサージ
金子はり灸院
訪問 マッサージ
受付時間/9:00～21:00(日・祝休み)
＜予約制＞　保険取扱いＯＫ（医師の同意必要）
名古屋市南区氷室町２０－２＜駐車場有＞
予約電話　0120－692370

総会参加の皆さんからのメッセージ

③下世さん(14回)：永らく参加していなく、久しぶりに参加しました。参加に戸惑いが有ったのですが、会場に行って何十年ぶりに同級生に再会し、とても嬉しかった～本当に参加して良かった。

①野崎さん(9回)：とても楽しかった～。もし二次会がある様でしたらホテルを予約するつもりだった～。

②釜口さん(9回):とても楽しかった～。来年も元気だったら行きたい～‥

④田中さん(23回):今年はとても楽しかった。出席して良かった～。金子さんから私の叔母の写真を頂いて‥嬉しくて涙がでた‥♀又、ギター、ピアノ、歌とか聴いてて涙が出ました‥～

⑤原田良子さん(26回)：（照明さんの奥さん）昔は同窓会に出ていました・・・。もし、横山さんの誘いがなかったら参加しなかった～と思う。参加して良かった～楽しかった～。

⑥三原さん(10回)：いつも車で移動するから、電車の乗り換えに自身がなく・・・さんと（同伴者）と一緒に行ったけど、よく分からなくて豊田市から三回も乗り換えてやっと着いた・・。もう少し分かり易いと良いと思う。

⑦森下さん(夜15回)：まだ参加した事ないけど、もし豊田で天高の集まりがあれば是非参加させていただきます～

祝!!宮嵜寛さん100歳

＜宮嵜寛さん略歴＞

1. 大正12年（1923年）10月16日
誕生（現天草市五和町鬼池）

2. 昭和15年（1940年）3月
旧制中学（天草高校）卒業

＜戦時色が強まる中学時代＞

中学生男子は武道教科が必須で、「剣道」か「柔道」かｒのどちらかを選択した。宮崎氏は柔道を。

3. 昭和15年（1940年） 上京・進学

＜進学・上京・学徒動員へ＞

学徒動員された宮崎氏は、スポーツマンで体格がよかったので、海軍に配属され、航空隊に編入を命ぜられた。広島で 勤務、訓練中、中学時代の柔道部先輩に偶然面会する機会があったらしい。先輩は、北海道から鹿児島に向う途中で小型機で単独飛行で、燃料補給で立ち寄られたらしい。わずかな懐旧のひとときを終え、先輩は鹿児島へ飛び立っていかれた。最後のお別れとなった。（同窓会での宮崎氏のスピーチ。皆、涙で聞きました。）

4. 昭和20年8月　＜終戦＞

6. 昭和25年（1950年）電通（本社、東京）入社

5. 昭和29年（1954年） 電通中部支社の創設で名古屋に転勤。＊戦後の経済発展、民放の創生、国際化の拡大等の中核を担って活躍され、健康に定年を迎えられています。

＜野崎さんに作成いただきました。＞

左から、奥様、次男、宮嵜寛さん（本人）、野崎さん、事務局（小山）

宮嵜寛さん（天中31回卒）が10月16日に、満百歳（百寿）を迎えられました。おめでとうございます。宮嵜さんは、大正12年10月16日、鬼池で生まれ、自転車で天草中学に通われ、卒業されました。高校時代は、柔道部に所属されていたそうです。その後、東京の中央大学法学部へ進み、途中、学徒動員され、海軍に従軍され、その後、復学し、卒業後、電通に就職され、昭和29年1月に、愛知県に転勤となり、その後、定年となり、現在も名古屋市在住です。先日、岸田内閣総理大臣より百歳お祝いの表彰状が届けられました。この間、中京支部の会員として、毎年総会・懇親会にも参加いただいておりました。事務局では、先日、宮崎さんと親交のある同窓会の野崎嗣政さん（高9）に、宮嵜さんが現在入居中の施設にご家族が訪問される際に同行させていただき、取材させていただきました。（上の写真）

名古屋市
宮嵜　寛　殿
大正十二年十月十六日生
あなたが百歳のご長寿を
達成されたことは誠に
慶賀にたえません
ご長寿をことほぐこの日に
当たりここに記念品を
贈りこれを祝します
令和五年九月十五日
内閣総理大臣　岸田　文雄

コロナ禍前の中京支部の総会で、宮嵜さんが、特攻隊の仲間のお話を涙を浮かべて、お話いただき、感動したことを思い出しました。下記の写真は、天草文化協会長を長年務められ、今年102歳で亡くなられた「堀田善久」さんと、中京支部総会で参加された時の写真です。左の写真は、「牛深ハイヤ節」を踊られる宮崎さんです。今後もお元気でお過ごしくださることを祈念いたします。

総会でハイヤ踊りを踊る宮嵜さん

今年102歳で逝去された堀田善久さんと

新連載「天草と豊田のつながり」③

平勝寺（曹洞宗）住職 佐藤一道

令和四年十一月二十八日から三十日までの三日間、私は豊田市鈴木正三顕彰会の皆さんと天草を訪ねました。その研修旅行の第二日目について述べます。

天草市栄町にあるプラザホテルを朝八時半に出発し、本町新休に所在する東向寺様を拝登しました。

天草島原一揆終結後、十年を経た慶安元年（一六四八）に東向寺の建立が始まり、翌年竣工しました。天草四ヶ本寺の筆頭としての地位と寺領高五十石を幕府から与えられました。

当時、新しく寺を建てることも寺領を拝することも異例でした。そもそも江戸幕府成立以前の織豊時代において統治者は武力集団化した大寺院の勢力に手を焼いていました。

徳川家康にも苦い経験がありました。

永禄六年（一五六三）に勃発した三河一向一揆は家康を窮地に追い込みました。不入特権を主張する三河の本證寺・上宮寺・勝鬘寺と、教団の利権を解体して三河国統一を目指す家康が対立し、一揆になりました。

翌年、家康は一揆勢との和議に成功し、一揆勢を解体しましたが、家康は宗教集団の恐ろしさを知りました。

江戸幕府成立後、本末制度・檀家制度などにより仏教統制を行いました。その一環として新たに寺院を建立することを厳禁しました。

寛永八年（一六三一）「公府有禁制創新寺之令」を出し、幕府は新寺建立禁止政策を徹底させました。

東向寺建立は、そのような時代背景のもとでおこなわれました。三河出身の鈴木重成代官が幕府に掛け合い、新寺建立という例外措置を勝ち取ったのです。それも一ヶ寺や二ヶ寺の話ではなく計二十ヶ寺を次々に再建あるいは創建しました。

新寺建立が何故、天草の人々のためになったのでしょう。

一揆後の天草は農民の激減で耕作放棄地ばかりでした。放棄された田畑を耕すために熊本や鹿児島から農民を移し、年貢を免除し、家まで提供したそうです。それのみならず、少しでも生活を安定させるため、幕府に捻出させた新寺建立ならびに維持の資金を建築労働の対価として農民に与えました。現代社会でいう失業対策事業に当たると私は思っています。

新寺には立派な僧が開山に招かれました。左の写真は東向寺の開山・中華珪法禅師で

連載②で紹介しました明徳寺の双聯を覚えておいでですか。「祖門の英師、清規を行じ」と称えられた英師がこの中華珪法禅師です。

各地から立派な僧を招聘したのは、鈴木重成代官の実兄、鈴木正三和尚でした。

※

今回、東向寺様拝登の時、住職岡部守信方丈様は不在でした。よって失礼を顧みず開山堂に入り中華珪法禅師の写真を撮りました。

その際、先住東向三十世岡部大雲禅龍老師の写真と位牌に気がつき、お参りしました。

東向寺様を訪ねたのは今回で二回目です。先回は平成四年二月のことでした。今から三十一年前です。

岡部禅龍老師が私の法曾祖父、沢木興道老師と誼を結んでおられたご縁で、親しく東向寺の歴史を話してくださいました。

話の途中、接客を担当する人が禅龍老師を呼びにきました。

「御前様」と声をかけました。

創建時、東向寺住職は単独で徳川将軍にお目見えできる特権が与えられていました。今に至るまでその威光は絶大であることを感じました。

私は三河の山寺の住職です。この地方では「和尚さん」を「おっさま」と呼びます。私に対してはもっと崩して「おっさん」と親しみを込めて呼びかけてくれます。

平勝寺の本寺である足助香積寺の住職には「方丈様」と呼びかけます。「御前様」と呼びかけられるのは多分、愛知県内では豊川妙厳寺様のみだと思います。

※

天草と中京地区を結ぶ人物としては、東向十三世・瑞岡珍牛大和尚、十五世・上藍天中大和尚がいます。

東向寺にある右図の衝立には尾張瀬戸の陶工・加藤民吉と十五世上藍天中大和尚が出会った場面が描かれています。

住職をした順序で言えば瑞岡珍牛大和尚が先ですから、次回は珍牛大和尚について書きます。

以下は予告編です。

珍牛さんは寛保三年（一七四三）正月六日に肥後国天草郡河内村（現在、天草市本町下河内）の佐藤家に生まれました。佐藤家七代茂兵衛の三男でした。

珍牛さんは八歳で東向寺九世霊泉恵照大和尚のもとで剃髪しお坊さんになりました。

珍牛さんには、どのような経緯で天草と中京地区のつながりができたのでしょう。

次回に書きます。　（つづく）

＜面白シニア川柳＞

- いつ死ぬかわかれば貯金使うのに
- 欲しかった自由と時間持てあます
- 付いて来い！言った家内に付いて行く
- 入場料顔見て即座に割り引かれ
- 目覚ましのベルはまだかと起きて待つ
- 字を忘れ考えてるうち文忘れ

～のさり多き～天草の旅～～～
「のさりの島」ロケ地巡り（完結編）

横山憲子（高13卒）

ワイン会も幕が下り、名残惜しいが皆さんとお別れし、宿に帰らなくてはならぬ。会の役員さんが手配して下さった代行で「松屋旅館」に向かった（代金・千円(◎_◎;)にもビックリ）。何故「松屋旅館」？ついでだから60数年前の事を掘り起こしてみたいと思う。私達母子は昭和28年に中国から引揚て新和の小宮地の母の実家に落ち着いた。日常会話すら出来ない私は、学力に追いつく為の日本語の習得もしなければならい。母は暫く小宮地の役場の臨時職員で働いていたが、肩身の狭い母は遠縁にあたる本渡の松屋旅館の帳場を任される事になり、母とは離れ離れになる。選べる立場ではない。私は小宮地の伯父の家にそのまま居候する事に。母に逢うには授業参観に来てもらうか、私が休日にバスで逢いに行く。寂しくて、辛くてやりきれない時は縁側に出て月をながめた。14歳の私にできる精一杯の・・・。母もこの月に照らされているのだ～そっと「母ちゃん」～と。当時の新和から本渡は果てしなく遠かった。

引揚5年目の昭和34年に天高に合格した。～と同時に私は母のいる松屋旅館に移り、天高の三年間お世話になったのであった。という理由で松屋旅館を選んだのだった。当然改装を施して有ったものの、とてもとても懐かしかった。オーナーさんも中田熊太郎先生の親戚の方が引き継いでおられた。

我々も旅の一日目に「のさった」ワイン会の余韻と心地良い疲れを織り交ぜながら早々と床についた。次の日の朝4人で大広間の朝ごはんをいただいたのだが、その食材の豊富なことったら・・・仲間達も嬉しい悲鳴をあげて喜んだ。普段朝食を摂らない私には、何から手をつけたらいいのか迷ってしまう・・・。次の日の領収書見たら宿割使って・・何と～ひとり2400円(◎_◎;)。

前日から連絡をとっていた後輩（数年前名古屋から天草に帰り工務店を営む）大谷夫人（高30回生）が松屋旅館に来てくれ、全員にお土産を持って来て下さり、短い時間ではあったが、暫し歓談し、記念写真を・・・。松屋旅館に別れを告げ銀天街を歩き、のさりの島に出てくる数々の場面が眼の前に・・・色んな想いがよぎる～。祇園橋を遠目にみて、二江へと向かった。崎津教会、集落、海上のマリア像をめぐり、下田の夕陽をめざした。少し雲がかかった夕陽ではあったがそれはそれで風情があり、仲間も大満足。夜は民宿「イルカ館」にて鮑、塩釜焼の鯛、緋扇貝などで乾杯。イルカ館を選んだのは、豊田市在住二江出身の先輩三原さん（高10回生）の従妹さんが経営している民宿を紹介して頂いたのだった。この場を借りてお礼申し上げます。

三日目

朝食後ワクワクして船に乗るが・・イルカさんご機嫌悪いらしい？船が進んでも進んでも現れず、やがて放送が入り・・舵取りはどうやら島原方面に向かっている様だ。・・・が結局主役は視界に入らず、港に戻る（かなりガッカリ）。気を取り直し、車で案山子の里へ。途中ちょっとわがままをきいて貰い、私が中国から引き揚げてきて四年間お世話になった新和小宮地の家や、夫の実家にも立ち寄る。その後目的の松島へ。

途中母が晩年暮らしていた有明の須子の家を外から眺め、岬亭へ・・と。途中休憩し、目的の岬亭に到着。受付を済ませ、浴衣に着替え最後の夜を堪能すべく・・乾杯を。

ホッとして翌日福岡空港に行く迄の行程を練り、熊本城が候補に上がったが、聞くとなんと水前寺に行った事がないというので、作戦を練り直す・・その時安田会長からの着信。「岬亭のフロントに来ているのだけど、横山という宿泊者は居ない」～との事。急いでフロントに行き我々の酒席に案内し仲間と再会。（宿割り使用の場合・・代表者の名前だけ登録・・んん～納得）。安田さんにイルカと対面出来なかった無念の想いを伝え、またの機会に来ます～と約束する。本当は安田さんと酒を酌み交わしたかったが、お車でしたので

女たちの大陸逃亡記

旧満州黒龍江省で平穏に暮らしていた日々が一転、敗戦の報せに、一家親族はあてもなく中国を逃亡しなければならなかった。ソ連兵の目を避け、必死で逃げるなか、隠された幼い妹の死の真相…。敗戦78年―4歳の少女の目に映った悲しき戦争の真実。

自費出版：１３２０円（送料不要、サイン入り）

問合せ：横山憲子（高13）　090-1744-9003

振込み先：「郵貯口座　2130-2 27715021　ヨコヤマ　ノリコ」

残念ながら叶わず。我々メンバー全員お土産を戴き、お気遣いに頭が下がる。本当に有難うございました。みんなで再会を誓い～お別れをした。大谷さんにしても安田さんにしても、わざわざひとりひとりにお土産を届けてくださるのって・・・流石天草～☆

四日目

最終日・朝に弱い私、朝食会場に最後に着いたのはもちろん私。着席するとイルカセンターからの着信に気が付く。～??誰か忘れ物でもしたのかな～と恐る恐る電話する。センター職員曰く「今、イルカが出てますよ。眼の前にいますよ、今どこですか？」～と。私は天草島内の距離感が全く分からないから「もう松島迄来てしまったので、すごく残念だけど無理ですねえ～」とメンバーの前で断り、一旦電話をきった。

ところが、メンバーの中西店長曰く「行けるよ。熊本市内を止めれば余裕だよ」と。そこでイルカセンターに「やはり引き返します～」と電話をし、こんな「のさり」を見逃すものかとばかりにイルカセンターへと向かいました。乗船まで時間が有ったのでお土産の買い足しをし、ワクワクして乗船。何分後だろうか見事なイルカの群れがいくつも現れたのだった。船の下を潜ったり、飛び跳ねたり・・ショウーは延々と続いたのだった。一緒に行った仲間も大満足。「のさったね！」。こうして私達の旅は終わり、福岡にもう一泊する谷田部さん、其々違うフライトで、札幌、中部へと分散搭乗した。私は安藤さんに我が家まで送って頂いたのでとても助かった。安藤さん～本当に有難う!!

程なくして、天草信用金庫の田中理事長様より中西支店長にお礼のハガキが届いたとの事～、グループラインにてはがきが紹介された。人情豊な島、のさりの島、仲間から・・移住っていう声も聞こえてきました～。そんな宝の島に誇りを感じる旅でした。

ワイン会で出会った方、ミツバチラジオの方々、宿泊させて頂き出会った全ての方々本当にありがとうございました。

※　お詫びと訂正・前号にて12月17日～20日は間違いで、正しくは11月17日～20日でした。

＜お知らせ＞
「のさりの島ロケ地めぐり」の前編は、会報27号に掲載されています。ホームページに、会報のバックナンバーを掲載中ですので、ご覧ください。

映画「のさりの島」ブルーレイ・ディスク発売

天草高校同窓会中京支部でも応援して日本各地で上映されました天草を舞台にした映画「のさりの島」のブルーレイディスクが9月23日（土）に発売開始されました。映画の本編の他に、メイキングビデオ（2本）や主演の藤原季節さんのインビューなどが収録されています。

購入（5，280円）は左記のQRコードから。

なお、「のさりの島」の山本起也監督より、天草高校同窓会中京支部あてに、寄付金（一万円）をいただきました。ご配慮に心より御礼申し上げます。

訃報

今年の総会時に報告された物故者の皆様です。改めてご報告します。謹んでご冥福をお祈りいたします。（一部は、既に会報等で報告させていただいた方も含みます。ご了承ください。）

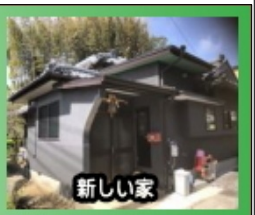
深見　寿子さん（高女21）
大谷ユリ子さん（高女30）
倉田　明彦さん（中36）
金子　泰孝さん（高1）
中村　五男さん（高1）
宮崎　美達さん（高1）
宮崎　洋伸さん（高3）
橋口　高義さん（高5）
新納　信道さん（高6）
中西　真人さん（高6）
白木　マユミさん（高12）

＜中京支部新規役員募集＞

中京支部では、中京支部の活動を支援していただける役員を募集しております。現在、10名ほどで運営していますが、他地区の30名と比べても少なく、少なくとも15名ほどに増えればと思います。特に、高20以降の皆さんの参加を募集します。返信ハガキやメールにて事務局までご連絡下さい。

あなたの力を中京支部に貸して下さい。

Uターン・Iターンの住まい・店舗をお考えの方!
新築からリフォームまで
大谷工務



〒863－0034 熊本県天草市浄南町3-21
TEL 0969－22－3658
携帯 090－3568－5768
e-mail：otan@otan-eng.com
HP:https://otan-eng.com/

・大谷　寛（天高25回卒）
・大谷千賀子（天高30回卒）
・（母）大谷麗子（高女29回卒）

〈資格〉
・一級建築士
・一級建築施工管理技士
・既存住宅状況調査技術者
・木造住宅耐震診断員
・応急危険度判定士

・「仮称)船頭崎川の洗い越し」及び石積の破損

文責：福田　和幸

洗い越し(あらいごし）とは、道の上を川が流れるようにしてあるものをいう。また、森からの沢水を山側から谷側に流すために林道を横切るように作られた排水溝の機能を持たせた構造で、道の流水による侵食や崩壊を防ぐ目的がある。橋を作れない理由として、コストや建築技術的な問題等が挙げられる。

令和2年7月豪雨(熊本豪雨)において、天草市二浦町亀浦下の船頭崎川の洗い越しの破損が発生した。大まかな被害は (1)左岸取付林道の石積崩壊(H5m)及び基部の孕み(2)洗い越し袖部の小崩壊(H1m)、裏込め材の流出(3)洗い越し上流の右岸斜面崩壊(H2m)(4)崩壊石積の下流側堰堤堆積　でした。

洗い越し部は、手で掴める10cmのサイコロ状石材を切込接ぎに（インターロッキングブロック）に叩き込んであります。明治期後半～昭和初期に築造された林道のようで、砂岩から成る石材は多少摩耗していますが頑丈です。多分、次の豪雨で消失するであろう「小さな土木遺産」です。

砂岩の比重を2.7とすると１個当たり2.7Kgですので、石切り場で加工して10個ぐらいをモッコにまとめ、200mの山道をかろうて登り、現地組み立てしたと考えられます。裏込めはφ5～20cmの玉石砂利を現地調達しています。水通しの緻密さから肥後石工の技術力がうかがえます。

(1)全高崩壊H5m・裏込め流出及び基部の孕み
写真左下は水抜き穴、露岩への直接基礎

(2)洗い越し側面袖部
崩壊H1m・裏込め流出・隅石とアーチ部残る

・船頭崎川：熊本県土砂災害情報マップから抜粋

・亀浦村春道部落の砂岩石切り場

http://sabo.kiken.pref.kumamoto.jp/website/sabo/kuiki/

令和5年度会費納入ありがとうございました。

令和4年度の会費(2,000円/年）については、68名のみなさまより納入いただきました。
心より御礼申し上げます。未納の皆様にもご協力お願いいたします。

NO	氏名	卒回	NO	氏名	卒回	NO	氏名	卒回	NO	氏名	卒回
1	川崎　伸明	中35	20	鈴谷　政哉	高15	39	益田　滋	高21	58	渡辺　瞬子	高29
2	坂本　忠男	併1	21	河辺　キヨカ	高15	40	江崎　孝行	高21	59	宮崎　和仁	高29
3	萩原　勲	高1	22	森下　誠	高15	41	平本　隆二	高22	60	藤本　朝子	高29
4	金澤　嘉子	高7	23	田口　早苗	高15	42	岡田　義昭	高22	61	大谷　千賀子	高30
5	松下　良悟	高9	24	加藤　邦子	高15	43	安東　ヒデミ	高22	62	宮崎　紋	高32
6	荒木　誠喜	高9	25	向　亮一	高15	44	本山　弘泰	高23	63	山田　順子	高33
7	野崎　嗣政	高9	26	松田　信孝	高16	45	田中　美智子	高23	64	福田　陽子	高33
8	釜口　康昭	高9	27	稲田　正子	高16	46	亀川　隆	高24	65	玉田　光一	高33
9	三原　富枝	高10	28	中原　一郎	高16	47	松田　美智子	高24	66	金子　洋子	高33
10	宮崎　逸子	高11	29	大塚　學	高16	48	近藤　紀代	高25	67	松崎　一輝	高41
11	原田　登	高12	30	鶴見　リヲ	高17	49	大谷　寛	高25	68	中村　ミツエ	定12
12	橋本　浩二	高12	31	伴野　ツヨミ	高17	50	杉浦　隆子	高25			
13	平方　良介	高12	32	吉田　和美	高17	51	佐古　恵子	高26			
14	松本　明彦	高12	33	伊藤　兼行	高18	52	原田　良子	高26			
15	野崎　政登	高13	34	原田　洋俊	高19	53	小山　康志	高26			
16	横山　憲子	高13	35	下田　久	高19	54	久野　佐代子	高28			
17	北野　忠夫	高14	36	田城　正廣	高21	55	石田　益枝	高28			
18	岡村　孝子	高14	37	三屋　紀代美	高21	56	中村　和博	高28			
19	下世　稔子	高14	38	錦戸　ルミ子	高21	57	福田　和幸	高28			

＜会費未納の方＞
同封の振込用紙にて
ご協力を御願いいたします。
会費については、中京支部運営のために有効に活用させていただきます。

総計　68名
（昨年度73名）

寄付金・協賛ありがとうございました。

寄付金・協賛金を賜りました。心より御礼申し上げます。
中京支部のために、1円も無駄にすることなく活用させていただきます。

NO	氏名	卒回	NO	氏名	卒回	NO	氏名	卒回	NO	氏名	卒回
1	故・橋口高義	高5	2	松下　良悟	高9	3	松田　信孝	高16	4	山本　起也監督	

会費納入のお願い(中京支部をご支援ください)　年会費2,000円

中京支部の運営費は、会員の皆様からの会費収入で賄われています。会費は、1人あたり年2,000円で、振込手数料（窓口払203円、ATM払152円）を引くと、1,797円～1,848円です。昨年は73名の方より納入いただき、手数料を引いた実質の会費収入は131,862円でした。会費の使用用途は、①会報作成費用（印刷、郵送費）②ホームページ運用費用③他地区同窓会出席費用④天草高校在校生支援費用⑤事務局運営費用（郵送代、通信費、会議室費用）などです。皆様の会費納入のご支援をお願い申し上げます。ご寄付も大歓迎です。

郵便局から同封の振込用紙をご利用ください。

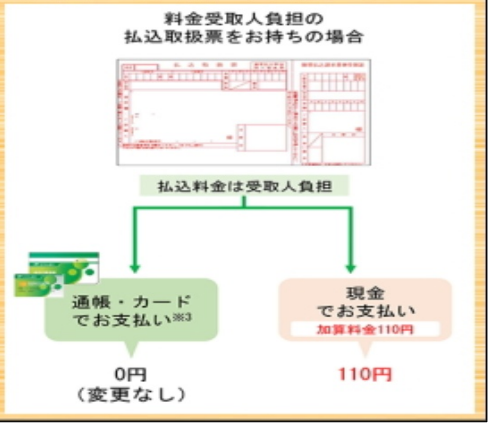
＜郵便振替＞口座番号：００８１０－２－１３５９７８
加入者名：熊本県立天草高等学校同窓会中京支部

一般銀行やオンラインバンキングからは、下記まで振込ください。

銀行名：ゆうちょ銀行、金融機関コード：９９００、店番：０８９
店名：〇八九 店（ゼロハチキユウ店）
預金種目：当座、口座番号：０１３５９７８

郵便口座からのオンライン振込は振込手数料無料です。ご利用ください。

なお、2022年1月17日から、郵便局の窓口やATMにおける各種払込みサービスの利用にあたり、現金で支払いの場合には、1件ごとに料金110円が加算されることになりました。ご負担をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
なお、郵貯通帳または郵貯キャッシュカードを利用し、窓口やATMから支払う場合は、加算料金はかかりませんので、お持ちの方は、ご利用ください。（右図参照）



天草高校の話題

科学部世界大会出場

天草高校科学部のホタル班は、3月末に行われた「つくばScience Edge 2023」で、全国195件のエントリー中、2位に相当する「創意指向賞」を受賞し、7月29日(土)・30日(日)にシンガポールのナンヤン工科大学で行われた「Global Link」世界大会に、日本代表として参加しました。

ホタル班の2人は、天草・河浦地域のゲンジボタルの発光周期の計測や、発光周期と気温や月明り等との関連調査を行い、膨大なデータ処理をとおして、天草・河浦地域のゲンジボタルは九州でも希少な3秒型の発光周期を持つことや、発光周期が、気温や明るさ等の環境に左右されることを見いだしました。さらには、環境の悪影響からホタルを守る保護施設の創造にまで研究を広げました。

天草高校の世界大会出場は、2019年に次ぐ2回目の快挙となりました。天草高校は、文部科学省「スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）」の指定を受けている学校で、「サイエンスの宝島 天草から世界へ」を合い言葉に、「天草探究プロセス」という独自の探究活動を全ての授業や教育活動で展開しています。

寄付金贈呈

科学部の世界大会出場にあたり、中京支部でも、総会・懇親会の会場にて、参加者に寄付金を御願いしたところ、総額6万円もの寄付金を賛助いただきました。ご協力をいただきましありがとうございました。寄付金は、同窓会本部を通じて、天草高校に進呈していただきました。

会報誌寄稿の御願い

会報編集部では、会員の皆様にためになる、喜んでいただける「会報誌」を作成し、お届けしたいと考えております。つきましては、会員同士のコミュニケーション向上を目指し、会員の皆様からの寄稿を募集しております。「コロナ禍での生活で想うこと」「天草への想い」「私の好きなこと」「私の趣味・習い事」「天草などの写真」「皆さんに伝えたいこと」などなんでも構いませんので宜しくお願いします。寄稿いただける方は、同封の返信ハガキのメッセージ欄あるいは事務局のメールまでお送りください。

中京支部ではLINEグループを運営中です。

中京支部LINEでは、最新の情報や会員の皆様方のコミュニケーションツールして有効に活用しております。是非、右側のQRコードを読み取り、中京支部LINEにご参加下さい。
お待ちしております。

熊本県立
天草高校同窓会
中京支部

中京支部ホームページ紹介

中京支部では、ホームページを設けて、最新のいろいろな情報を提供しております。「天草高校同窓会中京支部」で検索して、ご利用ください。

天草高校同窓会中京支部　検索

<内容紹介>
①同窓会や天草高校および天草に関する最新情報
②中京支部紹介（会則、役員紹介、会報誌、校歌・寮歌、リンク集、談話室など）
③過去の総会・懇親会の映像(YouTube)
④天草市各地のライブ映像
⑤天草高校出身の有名人・著名人　など

URL：amachu.iinaa.net

スマートフォンでアクセスする場合は、右側のQRコードをスキャンしてください。

編集後記

最初に今号の発行が予定より、1か月近く遅くなりましたことをお詫び申し上げます。またしても、編集担当者に癌の疑いが出て、生研等のため、通院検査する事態になりました。結果的には、癌でなく安心しました。

日本人の4大死因は、
1位：悪性新生物
2位：心疾患
3位：老衰
4位：脳血管疾患
で、ガンは1位となっています。

皆様も、十分気をつけて下さい。

今回の記事で、宮嵜寛さんの記事では発行遅延により、宮嵜様及び、ご紹介いただきました野崎様には大変ご迷惑をおかけしました。改めてお詫び申し上げます。コロナ禍が落ちついても、世界では、各地で戦争や紛争が起こっております。2024年こそは、平穏な世の中が到来することを祈念いたします。皆様も、お元気でお過ごしください。（小山康志記）